

別紙 ギヤケースの部品の相違点

1 別紙「乙第16号証」の拡大図の説明

(1) 中央に横に3つ並んだ図について

中央の図面は、正面図。

右側の図面は、右側面図。

左側の図面は、左側面図。

(2) 上部部に横に2つ並んだ図について

左側の図面は、ギヤケースの下半分を上から見た図面（正面図に対応）。

右側の図面は、ギヤケースを上から見た図面（正面図に対応）。

(3) 下部の図について

ギヤケースを下から見た図面。

2 別紙「甲第38号証の1」の拡大図の説明

(1) 下部の横に3つ並んだ図について

中央の図面は、正面図。

右側の図面は、右側面図。

左側の図面は、左側面図。

(2) 上部に横に3つ並んだ図について

中央の図面は、ギヤケースの下半分を上から見た図面（左側面図に対応）。

左側の図面は、ギヤケースを上から見た図面（左側面図に対応）。

3 別紙「乙第16号証」の拡大図と別紙「甲第38号証の1」の拡大図の違いについて（単位・ミリメートル）

(1) 形状等の違いについて

I 取付ベース（「a」桃色）

「乙16」は、「65×250×15」を2枚。

「甲38の1」は、「50×50×15」を4枚。

II ヒータ取付座（「b」青色）

「乙16」は、有り。

「甲38の1」は、無し。

Ⅲ 入力軸の軸受け（ベアリング）のボス（「c」緑色）

「乙16」は、「105×162×75」と「70×162×75」を各1枚。

「甲38の1」は、「85×186×45」を2枚。

Ⅳ 出力軸の軸受け（ベアリング）のボス（「d」緑色）

「乙16」は、「70×162×37」を2枚。

「甲38の1」は、「63×152×45」を2枚。

Ⅴ 油面計座（「e」桃色）

「乙16」は、「30×90×35」を1枚。

「甲38の1」は、「32×67×34」を1枚。

Ⅵ 天井板（「f」青色）

「乙16」は、「200×240×27」。

「甲38の1」は、「180×220×6」を折曲。

Ⅶ 溶接記号

「乙16」は、無し（文章で記述。「注1」）。

「甲38の1」は、有り。

Ⅷ 尺度（縮尺）

「乙16」は、1/3。

「甲38の1」は、1/2.5。

(2) 寸法の違いについて

① センターハイト（「①」）

「乙16」は、「250」。

「甲38の1」は、「240」。

② 中心距離（「②」）

「乙16」は、「90」。

- 「甲38の1」は、「85」。
- ③ 「③」
「乙16」は、「340」。
「甲38の1」は、「325」。
- ④ 「④」
「乙16」は、「87」。
「甲38の1」は、「60」。
- ⑤ 全高（「⑤」）
「乙16」は、「427」。
「甲38の1」は、「385」。
- ⑥ 手動軸の軸受け（ベアリング）の外径（「⑥」）
「乙16」は、「 $\phi 72$ 」。
「甲38の1」は、「 $\phi 80$ 」。
- ⑦ 手動軸の軸受け（ベアリング）のボスの外径（「⑦」）
「乙16」は、「 $\phi 110$ 」。
「甲38の1」は、「 $\phi 120$ 」。
- ⑧ 手動軸の軸受け（ベアリング）のカバー取り付けボルトピッチ円直径
（「⑧」）
「乙16」は、「91」。
「甲38の1」は、「100」。
- ⑨ ボス間の長さ（「⑨」）
「乙16」は、「280」。
「甲38の1」は、「240」。
- ⑩ ボスの厚み（「⑩」）
「乙16」は、「30」。
「甲38の1」は、「25」。

- ⑪ 手動軸の中心からの距離（「⑪」）
「乙16」は、「47」。
「甲38の1」は、「40」。
- ⑫ 板厚（「⑫」）
「乙16」は、「9」。
「甲38の1」は、「6」。
- ⑬ 脚のリブの厚（「⑬」）
「乙16」は、「12」。
「甲38の1」は、「6」。
- ⑭ 入力軸と出力軸の軸受け（ベアリング）のボス間の長さ（「⑭」）
「乙16」は、「292」。
「甲38の1」は、「240」。
- ⑮ 入力軸の軸受け（ベアリング）のボスの厚さ（「⑮」）
「乙16」は、「75」。
「甲38の1」は、「45」。
- ⑯ 出力軸の軸受け（ベアリング）のボスの厚さ（「⑯」）
「乙16」は、「37」。
「甲38の1」は、「45」。
- ⑰ 入力軸の軸受け（ベアリング）の外径（「⑰」）
「乙16」は、「 $\phi 85$ 」。
「甲38の1」は、「 $\phi 110$ 」。
- ⑱ 入力軸の軸受け（ベアリング）のボスの横幅（「⑱」）
「乙16」は、「162」。
「甲38の1」は、「186」。
- ⑲ 出力軸の軸受け（ベアリング）のボスの横幅（「⑲」）
「乙16」は、「162」。

「甲38の1」は、「152」。

⑳ フランジの厚さ（「㉑」）

「乙16」は、「12」。

「甲38の1」は、「10」。
